

地域説明会概要

第1 学校の再編にかかる地域説明会スケジュール

開催日時	開催場所	参集対象地区
11月14日(火) 19:00~20:00	綾木公民館 研修室	主に綾木地区
11月15日(水) 19:00~20:10	赤郷公民館 大集会室	主に赤郷地区
11月16日(木) 19:00~19:40	美東センター 大会議室	主に大田地区
11月20日(月) 19:00~20:20	真長田公民館 ホール	主に真長田地区

第2 地域説明会開催の周知方法

地域住民	区長文書の班回覧	計 254 班
各学校運営協議会委員	個別に郵送	計 13 名
各小・中学校長	個別に逡送通知	計 4 名

第3 出席者数

	出席者	左の内訳	市出席者
		学校職員	
11/14 綾木	8	2	教育委員会事務局 ・教育長・事務局長・教育創生監・教育総務課長・学校教育課長・教育総務課総務班長・綾木公民館長 市長部局 ・総務企画部長・市民福祉部長・美東総合支所長
11/15 赤郷	7	0	教育委員会事務局 ・教育長・事務局長・教育創生監・教育総務課長・学校教育課長・教育総務課総務班長・赤郷公民館長 市長部局 ・総務企画部長・市民福祉部長・美東総合支所長
11/16 大田	10	2	教育委員会事務局 ・教育長・事務局長・教育創生監・教育総務課長・学校教育課長・教育総務課総務班長・大田公民館長 市長部局 ・市民福祉部長・美東総合支所長
11/20 真長田	26	1	教育委員会事務局 ・教育長・事務局長・教育創生監・教育総務課長・学校教育課長・教育総務課総務班長・真長田公民館長 市長部局 ・総務企画部長・市民福祉部長・美東総合支所長
合計	51	6	

第4 地域説明会次第（要旨）

※下線部分は綾木地域で指摘を受け赤郷地域説明会以降に追加したところを示しています。

1 開会（局長）

本日は、お忙しい中、説明会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

定刻になりましたので、ただ今から、美東地域の小学校再編に係る地域説明会を開催させていただきます。

最初に、他の所の説明会時にご指摘がありましたので事前に説明させていただきますが、御案内や資料の標題を「美東地域の小学校再編に係る地域説明会」としておりますが、最終的に美東小中学校の施設一体型を目指しながら、当面は美東地域の3小学校を再編するという前提があつてのこの説明会でございますのでご了承いただければと思います。

本日の進行を務めさせていただきます、美祢市教育委員会事務局事務局長の千々松と申します。よろしくお願いいたします。

2 教育長あいさつ（教育長）

本日は、皆さん美東地域の小学校再編に関わる地域説明会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

平素から、美東地域の皆様方には、美祢市教育行政の推進に御理解と御協力をいただき、特に、各小学校の教育活動につきましては、格別の御支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

毎日の登下校の見守りなど、子供たちを地域の宝として、地域総がかりで守っていただいているおかげで、子供たちが安心・安全に通学することが出来ており、皆様方の御尽力のおかげで、各地域ごとに特色ある教育活動が推進され、様々な体験活動を通して、子供たちがふるさと美祢のすばらしさを実感し、ふるさとを愛する豊かな心が育成されておりますことに厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、令和4年12月16日付けで、美祢市立小中一貫教育校美東小中学校学校運営協議会会長名で施設一般型の小中一貫教育校に関する意見書をいただきました。

その後、令和5年6月9日付けで、美祢市立小中一貫教育校美東小中学校に関する要望書が提出され、美東中学校育友会、大田小学校、綾木小学校、淳美小学校のPTA役員会、美東小中学校、学校運営協議会と協議を重ねてまいりました。

そして、できるだけ早く、施設一体型、美祢市立小中一貫教育校美東小中学校を設立するために、まずは大田小学校の校舎を利用して、令和7年4月に三つの小学校を一つにした新たな学校を開校するという事で合意しましたので、そのことにつきまして、本日、教育委員会及び関係部局から、地域の皆様方に説明に参りました。

長い歴史と伝統を持つ三つの小学校は、それぞれの地域の誇りであり、親子二代、あるいは三代にわたって御卒業された大切な母校であるご家庭もおありかと思います。

そのような心のよりどころである小学校が新たな学校になるのは、万感胸に迫るものがございますが、何よりもまず、子供たちを大切に思い、子供たちの幸せを願って、3小学校の保護者の皆様方が御決断されたことと敬意を表します。

変化の激しい予測不可能なこれからの時代で生きていく子供たちのために、一人ひとりの子供が、その子なりのかけがえのない良さや能力を発揮し、互いに認め合い、支え合いながら、人として、共によりよく成長できるように環境を整えるのは、私た

ち大人の責務であると考えております。

誰もが「通いたい、通わせたい、働きたい、関わりたい」と誇れる学校を美東に作りたいという保護者の皆様の熱い思い、美祢市美東の将来のために、子供たちが帰ってこられる、ふるさとを守るために、みんなで一緒に汗をかきたいという強い願いをしっかりと受け止め、子供たちの幸せを一番に考えながら、子供たちが希望を持って通学できる、魅力ある新たな学校をつくるために、美東町民の皆様や、学校、行政がともに連携協力し、様々な立場から知恵を出し合い、一丸となって取り組んでまいります。

施設一体型小中一貫校の設立は、美祢市内では初めての取組です。

赤郷、大田、綾木、真長田という地域を超え、大人同士が協力し合ってこそ、新しい学校の子供たち同士が、共に認め合い、助け合い、励まし合うことができると思います。

3校のこれまでのすばらしい歴史と伝統、そしてそれぞれの学校が、地域の皆様方の御尽力のおかげで続けてこられた、その地域ならではの特色ある教育活動を踏まえながら、子供ファーストで子供たちの笑顔が輝き、誰もが安心して楽しく学べる魅力ある学校の設立に向けて、ぜひ、美東地域の皆様方の温かい御理解と御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ただ、令和7年4月に新しい学校が開校するには、もう待たなし状況でございます。

まず、子供たちや保護者の皆様、地域の皆様方が安心して令和7年4月を迎えることが出来ますように、不安や疑問を持っておられることなどを解決しながら、歩みを止めることなく、開校に向けての準備を着実に進めていかななくてはなりません。

本日の説明会が、子供たちのために、学校、地域、家庭、行政がしっかりと連携協力し、新たな魅力ある学校づくりに向けて、共通理解を図る会となりますよう、よろしくお願い申し上げます。

どうぞ、本日はよろしくお願いいたします。

3 説明事項

(1) 児童・生徒数の推移について（教育総務課長）

それでは、「(1) 児童・生徒数の推移について」資料に基づき、教育総務課から説明させていただきます。

まず、お手元の資料、次第の次のページ「資料1」を御覧ください。

この資料は、上段に3小学校の児童数の推移と美東中生徒の合計、下段に令和3年度を基準とした増減比較した資料になります。

左側から、令和3年度、一昨年度になります。次に4年度、続いて、令和5年度の今年度です。それから令和6年度以降の見込をお示ししております。

まず、上段の3小学校の児童数の推移を御覧ください。

綾木小学校については以前から複式学級ですが、淳美小学校においては昨年度の令和4年度から4・5年生が複式学級となり、令和5年度においては2・3年生と5・6年生が複式学級となっています。

令和9年度においては大田小学校も2・3年生が複式学級となる人数となっています。

説明は以上です。

(2) 美祢市における小中一貫教育について（学校教育課長）

引き続き資料1枚めくっていただきまして、資料2という閉じ込みの大きな紙を閉じ込んでおるところをお開きください。それから引き続きですね、その次に、ちょっと子供たちの写真が、スライドが載っておるもの、この2枚を使って御説明をさせていただきますと思います。

美祢市の小中一貫教育ということにつきまして、令和3年度に美祢市の小中学校管理規則というものを改正いたしました。

規則を改正して、正式に小中一貫教育校というものがスタートしているのが美祢市の現状でございます。

では一体どういったことをしているのかということですが、最初のこの大きな表のようなものを御覧ください。これ我々学校地域連携カリキュラムと呼んでいるものなのですが、1番上に、カリキュラムと書いてありまして、2段目に「ふるさと美東を愛し、夢に向かってたくましく生きる子供」と書いてございます。これは、美東中学校、それから、大田、綾木、淳美この4校が全てこの教育目標に向かって、今子供たちを育てて、これ、当たり前のようなことでありますが、なかなかこういうことが今までなかった。一つの目標に向かって子供たちを、小学校中学校の先生方がみんなで力を合わせて、育てていく。そして、保護者や地域の方と一緒に、子供たちもそこに参画してっていうのが小中一貫教育でございます。

右側をご覧ください。

表の1番右側につけたいかっていうふうなことが書いてあります。下のほうに、小学校の間にはですね、まず、先ほどの目標を達成するために、ふるさと美東の様々なよさに触れる、そして、自分の住む地域に関心を持てるように、子供たちを育てていきましょう。

それが小学校高学年5、6年生になりますと、今度はちょっとレベルアップしまして、ふるさととのつながりを大切に、自ら地域と関わり合おうとする気持ちを持つような子供を育てましょう。

そして、それが引き続き、中学生に上がりますと、中学校の2年生、3年生になると今度は、ふるさと美東に思いを寄せて、地域のために貢献できる、今度は行動を起こす、そういうような、子供たちを育てましょう。

そういった一環で先日、銅山まつりも美東中の生徒さんが非常に活躍したというふうに聞いております。

こういった目標を持って、子供たちを、小中で先生方がちゃんと見通しを持って育てていく。中身をちらちらと御覧になりますと横に帯がありまして縦にも少し帯があるのがお気づきになるのではないかと思います。

縦の帯は小学校3校で、せっかく小中一貫教育で同じ、所、美東小中学校の仲間なんだから、一緒にやりましょうねっていうことです。小学校低学年の町探検は一緒にやりましょうとか、小学校の4年生の2分の1成人式は一緒にやりましょうというようなことで、そういう小学校同士、同じ美東中学校区の小学校同士も小・小の連携も進んできている、こういう現状がございます。

こういったカリキュラムを持って、みんなが目標を一つにして、子供たちを育てていく。当たり前のようにありますけれども、今までは、小中これを別々に一生懸命やっていたということがございます。それが、やっぱり、同じ子供が育っていくんだか

らみんなで力を合わせてこういうものに、しっかりみんなで知恵を出し合いながら、改善しながらやっていきたいと思います。ということで、小中一貫教育を進めております。

めくっていただきまして、少し子どもの姿を見ていただきまして、具体的にスライドの1、左上ですね。

御存じの方も多いかと思いますが、美東中学校での、小学校の高学年の切磋琢磨合同事業の実施の様子でございます。

3小の高学年が集まって、英語科を中心に切磋琢磨する事業を毎週水曜日、基本的に毎週水曜日取り組んでおります。これも小中一貫教育の一環でございます。

この中で、やっぱり日頃会話をする事のない友達と切磋琢磨しながらですね、多様な学びを体験して、子供たちの評判は非常にいいということでございます。

右側、子供が関わると当然先生方も関わります。3小合同事業の前後にはですねこういうふうに、左側の先生が中学校の先生で背中を向けて座っておられるのが、小学校の先生、こういうふうに、先生方の交流っていうものも生まれてくる。

写真にはございませんけれども、校長先生方も月に1回、小中一貫教育校で集まって、子供たちをどう育てていくのか、連携の会議を始められています。

そういったところが、小中一貫教育校になった要素というふうに思っています。

で、左下、先生や子供たちがつながっているだけではなく、地域の組織も、つながっています。主な組織が二つございますが、左側の学校運営協議会、これも美東中学校区で一つの学校運営協議会をつくっていただいております、学校運営の相談にのっていただいている。

そして、地域の子供は、しっかり学校だけじゃなくて、みんなで育てるよってというのが右側の地域教育ネットでございます。これも、美東中学校で、一つの地域教育ネットをつくっていただいて、美東こぶっちゃんネットをつくっていく。そういったことになっております。

そして、最後右下の写真は、今後、美東小中が距離的にも近くなったら、いろいろな可能性が広がるのではないかとということで、一つ例をお示ししています。

これは、伊佐小中の様子でございます。伊佐小中は、小学校と中学校が歩いて行ける距離にありますので、よく小学校の中で見られている縦割り班活動、1年生から6年生までの縦割り班活動を、中学校3年生から小学校1年生までの、縦割り班活動をやっておいて、1学期に1回ずつはさゆめタイムということで、小学校1年生から中学校3年生までが交流したり、ゲームをしたり、地域清掃に出て地域貢献をしたりというようなことを進んでやっておられます。

こういったことも小中一貫教育校の可能性、それからまた、美東小中がさらに距離が近くなれば、こういった可能性っていうのがまた広がってくるのかなというふうに考えておるところでございます。

いろんなアイデアや知恵を出し合いながら、子供たちの9年間の学びというのを、つくっていけるというふうな仕組みが出来ているということの紹介でございます。

以上です。

(3) 美東地域における3小学校の再編について（教育総務課長）

それでは、「(3) 美東地域における3小学校の再編について」、私から説明させていただきます。

その前に言葉の意味の説明をさせていただきたいと思っております。

施設分離型とか、施設併設型とか、施設一体型という言葉が出てきますが、それはど

ういう意味なのかというのを、ご説明いたします。

まず、施設分離型ですが小中一貫教育を進める上において今の綾木小学校や淳美小学校は美東中学校と別々の場所にありますのでこの場合は施設分離型になります。

それから、施設併設型ですが、これは小学校と中学校が隣同士で並んで建っている場合で、例えば大田小学校単体と美東中学校で考えれば施設併設型ということになります。

そして、最終的に目指すことになっている施設一体型ですが、例えば美東中学校の中に小学校が入るという形になれば施設一体型ということになります。

口頭での説明ですがお解りいただけましたでしょうか。

それでは本題に入ります。

先ほど、美東地域の3小学校の児童・生徒数の推移を説明させていただきましたとおり、全体的に子どもの人数は減少傾向にあります。

これは、お示した学校に限らず、市内全体で同様の傾向にあり、美祢市においては、おおよそで年間50人が減少するペースが続く状況となっています。

市といたしましては、人口定住対策を最重要課題として位置付け、道路網やライフラインの整備、企業誘致はもとより、子育てしやすい環境の整備に鋭意取り組んでおりましたが、想定を上回るスピードで人口減少が進んできている現状となっています。

この傾向は、美祢市に限らず、全国的にも同様な傾向が続いており、今後も継続すると見込まれています。

美東中学校区においては、令和3年度から小中一貫教育の先進地域として先行して進めてきており、保護者の方々にも小中一貫教育を進めるべきだとの理解も広まってきているところです。

しかし、現在の美東小中一貫教育は施設分離型であり、一貫教育の乗り入れ時の移動に時間がかかっている現状がありまして、そのことを解消したいとの声もありました。

ここからは今回に至った経緯7項目を時系列でお話ししたいと思います。

1番目、昨年(令和5年)の12月に美東小中学校運営協議会から「施設一体型の小中一貫教育校に関する意見書」が提出されました。

2番目、これを受け市長とも協議を行い今年2月に文書で回答しました。

その後の3月に美東小中学校運営協議会と意見交換会を行いましたがいまだに意見はまとまりませんでした。

3番目、その後に学校運営協議会と協議する中で保護者の意見が大切であるので保護者団体の意見を尊重する必要があることから、学校運営協議会が各保護者団体の総会等で周知され、各保護者団体でアンケートを取られた結果、各団体とも最終的には施設一体型を目指し、令和7年4月に3小学校を1つにする方向性になったと伺っております。

4番目、これを受けて、令和5年6月に4学校のPTA連名で市長、教育長宛に「美祢市立小中一貫教育校美東小中学校に関する要望書」が提出されました。

5番目、要望書提出を受け市長とも協議を行い、保護者団体の役員方と8月10日に協議を行い概ね合意形成がはかられました。

6番目、その後の8月22日に以前から協議をさせていただいていた美東小中学校運営協議会と協議を行った結果、合意形成ができなかったため、再度市長との協議を行いました。

7番目、そして、10月に再度学校運営協議会と協議を行いました結果、できるだけ早く小中一貫教育校美東小中学校の施設一体型を目指し、先ずは、大田小学校の校舎を活用して、3つの小学校を1つにし、新たな小学校の新規設置を令和7年4月とすることで合意しました。

子どもたちのためにと熟慮された保護者の皆様の思いをしっかりと受け止め、本日説明をさせていただいているところです。

今後の事については詳しくは(5)今後についてのところで説明させていただきます。

教育委員会事務局といたしましても、引き続き、美祢市で子どもを生み育てたいと思っただけのような、魅力と活力に満ちた学校環境の整備を最優先として、取り組んでいきたいと考えております。

どうか、地域の皆様にも、この再編に御理解と御協力をお願いしたいと考えております。

説明は以上です。

(4) 施設一体型の整備に向けた取り組みについて（教育総務課長）

それでは、施設一体型の整備に向けた取り組みについて、説明いたします。

最終的には施設一体型を目指すことになっており、最も早い場合は令和8年4月に施設一体型を目指すという事になっております。

現時点ではどういう状態で施設一体型にするのか決まっておりますが、今後教育委員会からも例を提示する等してご相談しながら進めていきたいと考えております。

地域説明会が終わりましたら開校準備協議会という組織を立ち上げる予定としておりますが、その中において施設整備部会というのをつくることを検討しており、その中で協議しながら進めていけたらと考えております。

以上が施設一体型の整備に向けた取り組みについての説明でございます。

(5) 今後について（教育総務課長）

それでは、再編に向けて、今後、どのように進んでいくのか、説明いたします。

まず、各地区で行うこの地域説明会が終わりますと協議会を立ち上げてその中で色々と開校に向けて協議して決定していきます。

この協議会については3小学校と美東中学校、それぞれの保護者や地域の方、教職員で組織してまいりたいと思います。

協議会の協議の中では最初に学校名を決定して、その後に通学支援や継承記念事業等について、具体的にどうしていくのかなどを協議していきたいと考えております。

事務上の手続になりますが、新たな小学校の校名が決まりましたら3小学校を新たな小学校として設置する学校の設置条例改正案を提出し、可決されましたら開校に関する予算を計上します。

協議会で話し合われた情報については、「協議会だより」という形で、地域の皆様方にもお知らせいたします。

以上が主なスケジュールの説明でございます。

(6) 跡地利用について（教育総務課長）

次に、学校の跡地利用の件になります。

今までの状況を説明いたします。

全体的に体育館及び運動場については、学校開放での利用実績や地域からの要望もあり、その後も引き続き地域の皆さんが使用できるよう、地域の体育館及び多目的広場として設置・管理しています。

体育館及び運動場と申しましたが、淳美小ではグリーンコースの検討も必要となります。

校舎については、地域の意向、地域での意見のとりまとめをお願いしています。各地域では、地域の方々が中心となって協議会を立ち上げられ、協議の場を設け、その結果について要望書を提出されています。

そして、多くの場合は、地域交流センターやコミュニティセンターとして活用されており、中には、桃木小学校のように山口県立宇部総合支援学校美祢分教室としての活用や、別府小学校のように別府公民館を移転させているところもあります。

最近では、重安小学校が令和3年度末までであったのですが、重安小学校については、地域の方々が「絆プロジェクト」というチームを構成され、記念事業や跡地利用について協議を進められましたが、良い案が見つかりませんでした。

跡地については給食センターの候補地として検討し、地元の合意も得られ、現在は令和6年度2学期の供用開始を目指して美祢市学校給食センターを建設中です。

この美東地域には、それぞれ公民館がありますので、地域としてはどうしたいか、又はどうあるべきか御検討いただきたいと思っています。学校跡地のあり方について、地域の思いをお知らせいただきたいと思っております。

なお、特に地域からの要望はないという場合もありますが、その場合、市の方で、利活用を考えます。美東地域の学校は比較的新しいので選択肢として考えにくいのですが、利活用ができないと判断したところは、解体について検討を進める場合もございます。

再編後の校舎等につきましては、市の公共施設のあり方についての基本的な方針や各種施策との整合を図りながら、地域の要望を踏まえ、跡地利用を考えて参りたいと思います。

説明は以上となります。

4 質疑応答（要旨）

ア 予定表ではこの地域説明会は今日が最初だと思うので説明の手直しをしていただきたい。第1に、御案内の文書、レジュメの1番上の、「美東地域の小学校再編に係る地域説明会次第」とあるが、10月2日に合意した内容は小学校再編が頭にくるわけではなく、当初から要望趣旨は一体型的美東小中学校の実現であるのでタイトルに違和感がある資料であり、住民の方は誤解を受けるタイトルである。

第2に(3)美東地域における3小学校の再編についての説明の中で、学運協から要望書が提出されスタートした経緯が述べられていない。

第3に8月10日に保護者団体と協議をされて合意を得たと説明されたが、PTAの方に聞いたらPTAが何も言わなかった事を合意を得たという解釈をされている。PTAに聞いたら合意はしていない、資料のないままに言われたので反論できなかったというのが事実。

小中一貫の分離型、併設型、一体型の言葉の意味を説明した方が良いと思う。

開校準備協議会で小学部の話をされると思うが、大前提に一体型の学校はどうするかという話の順序の筋道を立てて説明して欲しい。

先進的な取り組みについて情報収集し情報提供してほしい。

回答：特に他意はございません。前回言ったことは間違いがないのでご安心ください。

言葉の整理をして説明させていただきたい。情報収集し情報提供できるようにしたいと思います。

回答2：ご案内のタイトルがこの名称ですのでタイトルはこのままでそういう意見があったという説明をしたいと思います。

施設一体型の説明については次第の3と4の間に項目を入れさせていただき、用語の説明についても加えさせていただきます。

イ こういう説明会は人が来ないと意味がない、努力が足りないと思う。

回覧しておけば良いというものではない。やる気が足りない。何がやりたいのか、意識を変えないといけない。

カリキュラムの話もあったが、これで親が通わせたいと思うか。このようなものは何処でもやっているが、それでいいのか。尖った魅力を持って定住対策につなげないと美祿市は将来がないと思う。若い人の考え方を反映してほしい。

回答：説明会の周知方法等については今の御意見を承りまして今後良い方法を模索していきたいと思います。

回答2：カリキュラムについては学校、学校運営協議会、PTAの皆様と熟議を経て決めていて、常に検証・改善していくことになります。

一番大切なのは子供たちにどういう資質・能力を身に着けるかということで、ふるさと美東を愛し夢に向かってたくましく生きる、たくましく生きるという事をカリキュラムで達成するために主眼を置いています。

魅力化、定住よりも子供の資質・能力を付けることを第一に考えて作っているところです。

カリキュラムの中身は美東でしかできない事をしっかりと盛り込んだものだと思いますので、魅力ある学校については違う項目で協議していく必要があると思っています。

回答3：このカリキュラムは今までの美東小中のカリキュラムでして令和7年4月からに向けては魅力あるカリキュラムにしていきます。

ウ 一体型の言葉の意味の説明をして欲しい。

今日は新しい学校となった後のカリキュラムが示されるかと思っていた。

回答：言葉の説明をさせていただきたいと思います。まず、施設分離型ですが小中一貫教育を進める上において今の綾木小学校や淳美小学校は美東中学校と別々の場所にありますのでこの場合は施設分離型になります。

それから、施設併設型ですが、これは小学校と中学校が隣同士で並んで建っている場合で例えば大田小学校単体と美東中学校で考えれば施設併設型ということになります。

そして、最終的に目指すことになっている施設一体型ですが、例えば美東中学校の中に小学校が入るとい形になれば施設一体型ということになります。

回答2：カリキュラムを示して説明をするという方法もあるかと思いますが、本日は喫緊の3小学校の再編について御理解をいただく説明会でございます。

エ 最短で行けば令和8年4月に施設一体型という話をされたが、令和7年4月に3小学校が一つになって、それから1年で一体型に移行するのは子供にストレスがかかり一気に行き過ぎて破綻するのではないだろうか。

併設型になって状態をみながら子供たちが落ち着いて移行した方がいいのではないかという気がする。

赤郷小学校時代には赤郷特有の学びがあったと思うが大田小学校に統合され大田がベースになって、今度は美東地域が一つになると各地域でその土地特有の学びがあると思うので一つになってもどの地域の学びも学べるようになると思う。

子供が減るという話で保育所が凄く古いので住みやすいまちづくりを考えてほしい。

200円バスが朝の便がなくなったので赤郷と綾木で各1人、高校の部活に間に合わなくなった状況となっている。運転手の労働時間の問題と聞いているがどんどん住みにくくなっている。何か対応してあげられたら良いと思う。

回答：施設一体型については今現在、中身が決まっているわけではなく最短での話です。これから協議をして決めていく上では変わってくる可能性はあると思います。

協議をする中でよく話し合っただけだと思います。

回答2：カリキュラムは再編後に各地区の特色ある学びができるのは非常に良い事ですが、時間が3倍に増えるわけではないので先生が知恵を出しながら子供たちの意見を取り入れて熟議して組んでいくことになります。

回答3：ご指摘のとおりこの10月からダイヤの改正が行われていまして、理由は労働基準法の改正によりバス運転手の労働時間が厳しくなっており、運転手不足の状態では難しい状況です。

直ちに改善できませんがより良い地域交通となるように事業者と話をしていきたいと思っています。

オ 少子化について美祢市全体で考えていかなければいけない、市の方から情報提供をしてもらいそれを生かしていきたい。

回答：ご指摘のとおり美祢市では少子高齢化が進んでいます。美祢市は若い女性が少ないのが特徴で、萩市、長門市と共同で結構相談所と事業を行っています。

赤郷地域は夢プランもつくっておられ住民の方の意識が高い地域であると思っています。なので行政と地域が一緒になって取り組む必要があると思っています。

回答2：子供が増えるような状態にしないと、という意見は良くお聞きします。美祢市では現在、魅力ある学校づくり検討委員会という組織を立ち上げて有識者を交えて検討しています。

これを第三次の適正規模・適正配置基本方針に組み込んで策定していくようになります。

子供が減る話ばかりと言われますが、推計ではなく実数でのお話ですし、リスクを管理するには悪い想定も考えながら考えていかなければいけない部分もございます。

カ 跡地利用の件で赤郷小学校が閉校して今は草が繁茂している。地域で検討したが良い案が出ず市に検討をお願いしました。

決まるまでも良いので適切に管理をお願いするか、地元へ委託してほしいです。

回答：現在の管理部署は教育総務課ですので申し訳ありません。適切な管理になるように努めます。

地元への委託については是非ともお願いしたいと思うのでまたお話をさせていただきます。

跡地利用については市の方で検討している状態ですが、幾つか話がありましてお話しできるような状態になりましたらお話しさせていただきたいと思います。

キ 保育園が安心できれば定住や移住にもつながるのではないのでしょうか、住みたくなるようなまちづくりを行政も我々もしなければいけないと思います。

学校の名前は美東小中学校では硬いので美東学園の保育部、小学部、中学部、高等部、大人の大学部という大きな視野でつくれば住んでみたいなという人が出るのではないかという思いで美東学園にしたいと思う。

カリキュラムも美東の良さを入れたカリキュラムを作らないといけないのではと思う。

回答：貴重なご意見ありがとうございました。参考にさせていただきます。

ク 施設一体型が早くて令和8年という話がありましたけど、これは令和8年には必ずということではないですよね。小学校を再編した後に話し合いながらいずれは一体型にするという考え方でよいか。あまりに期間が短くバタバタする感じがするが。

回答：施設一体型については今現在、中身が決まっているわけではなく最短での話です。これから協議をして決めていく上では変わってくる可能性はあると思います。

教育委員会が例を示しながら協議をする中でよく話し合っていけばと思います。

ケ 非常にタイトなスケジュールになっている。令和8年に小学校が一つになり1年後の令和9年に施設一体型になるというのは、既に小中一貫になっていることもありエネルギーがものすごく必要で無駄なのではないかと思う。

各小学校で閉校式を行うようになると思うが、子供たちの事を最優先にすべきであり過度なイベントに力を入れる必要はないのではないかと思う。

回答：ご指摘のとおり吸収合併のような形なら1年位で行うこともありますが、新校の設立という形で行う場合は通常2、3年くらいかけて行いますのでスケジュールは非常にタイトです。

今回の事は保護者団体4団体の連名での要望書の提出を受けて進めているものでありまして、その要望の中にも、意見の中にもありましたが、子供たちの1年は大人の1年と違いとても大切な1年であるという御意見だったと思います。

要望書でも施設一体型の実現に時間を要す場合は先に3小を一つにして施設併設型で小中一貫教育を進めてほしいとの事だったと思います。

教育委員会としてはその要望にお応えすべく、タイトではございますが、皆様の御協力が頂けるという御意見も伺っておりますので進めさせていただいているわけでございます。

閉校式が無駄なのではないかという御質問につきましては、今回は今の学校を継承するということで継承式と呼ぶことにして進めております。

継承式はコロナ禍から規模をかなり縮小しているような状況ではございます。

今回の継承式についてはご指摘を受けてどうするかを検討するようになりますが、式は定形の物を行っていますが、記念事業については各地区の任意団体を作っていたら行っていただくようになりますが、考え方次第で規模はそれなりの規模でということも十分に考えられるのではないかと思います。

コ 小中一貫は時代の流れで仕方がないが、放課後の問題、児童クラブは小学校のところにあり、夕食のとりかたといいいかなものかと思う。

保育園は今の小学校の隣にある、教育には一貫性が必要だと思う。

回答 2: 児童生徒の放課後については放課後児童クラブを行っており、小学校が一つになっても児童クラブはそれぞれの地域で継続して行う事になります。

小学校が一つになっても保育園は一つになるわけではありません。美東地域には保育園が二つあります。市では市全体の再編整備計画を考えています。

大田保育園は古いので新しい施設を考えており、真長田保育園も施設は古く場所も送り迎えが大変なところにありますので子育て支援課の方で様々な方々の意見を伺いながら令和6年度中に方向性を出す予定としていますのでしばらく時間をいただけたらと思います。

サ 子ども達の習い事やスポ少にすべて送迎が必要、同じ場所で全て完結してほしい。

赤郷でスクールバスの運転手をしているが10人の送迎の場合、一番長い子で1時間20分くらい乗っていることになるとトイレの問題もあります。大きいバスだと小さい道には入れないのでよく考えてほしいです。

回答: 貴重なご意見として伺わさせていただきます。

回答 2: スクールバスについては令和7年4月の運行開始を目指し、令和6年度中にPTA部会の中で教育総務の方から案を示し協議していただくこととなります。

確かに大きいバスだと小さい道には入れないがバスの運転手不足の問題もあるので運行業者とも相談して考えていきたいと思っています。

回答 3: 低学年と高学年の年間の授業の時間数が全然違いまして、どのあたりまで調整できるのかなという問題はありますが、実際にバスを運転しておられる方の意見です。重く受け止めて検討したいと思っています。

シ 前回、保護者説明会で美東地域の児童クラブの委託を検討中ということだったが美祢市内で統一してほしいです。

回答: 今、美祢市には10を超える児童クラブがありますが、直営は3つだけです、協議会がうまく機能できていない現状もあり前回もお話しさせていただきましたが、今後全て委託できるようにしていきたいと思っています。

ス 地域説明会が終わったあとで良いのですが、可能であれば保護者説明会の議事録を各地区の班回覧で回覧してもらいたい。

回答: 区長文書については量と数を少なくするよう努めるよう求められています。回覧にはボリュームが大きすぎるかなと思いますのでホームページでの公開を検討したいと思っています。

セ 資料2の「忠孝真美田の心」とあるが何なのか。

教育目標で地域に貢献できるとあるが、子どもの数が減ってきて顔が見えない、そのような状況で地域に貢献できる人になれるわけがないと思う。

回答: 読み方については「ちゅうこうしんびでん」で間違いありません。

出席者：徳重三郎さんが淳美小学校に寄附をしていただいた田んぼを子供たちと一緒に田植えや稲刈りをすることで地域の中の小学校という取組をしているのが「忠孝真美田の心」です。

回答 2：最近は分かりやすい学校教育目標にしようということで3つの小学校と中学校も一緒に「ふるさと美東を愛し、夢に向かってたくましく生きる子ども」で統一しています。

別に昔からある校訓については準備協議会の部会の中で協議していただくことになると思います。

ソ 再編については時代の流れなので仕方がないと思う。問題は立っている建物をどのように利活用するか、市からもアドバイスが欲しい。

保育園として活用する案はないのでしょうか。

回答：基本は地域での有効活用を検討していただき、情報が必要であれば教育委員会にご相談していただけたらと思う。活用方法がなければその後は市の方で考えていきます。

まずは地元の方の意見を尊重します。

回答 2：保育園については子育て支援課の方で関係者と話し合いながら検討していくこととなります。